

令和 6 年度 上 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番3号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,107,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、事務室、 駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

●利用状況

		R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	12,479	11,733	1,945	8,577	9,158
	移動児童館利用者数	260	244	321	297	215
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※8(3)	※9(4)	※9(4)	※9(4)	※7(3)
	開館日数(単位:日)	154	151	155	151	155

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 ②所長1名、職員2名の3名を配置しました。 (うち保育資格2名 児童厚生員3名) ③「児童用おたより」の発行-16か所に配布しました (小学校5校区、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) 「幼児用おたより」の発行-11か所に配布しました。(幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) ホームページはスマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせやブログも用いてタイムリーで分かりやすく配信しました。 また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 気象警報発令時などの情報は、迅速にホームページにUPしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また児童・保護者を対象にアンケートを1回実施しました。(上半期1回) 苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応しました。 意見・アンケート調査結果は館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 また、日頃から利用者とコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りを心がけました。 ⑤仕様書・事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②幼児室に口に入れた物を入れる箱を作りアルコール消毒を実施しました。トイレの便座、洗面所を1日1回アルコール消毒を実施しました。 就労継続支援B型事業所清掃班による清掃を実施しました。 業者による窓ふき・ワックスがけを行いました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボトル及び牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 おもちゃや本の寄付があり、きれいにしてリサイクル活用しました。 職員で園庭の草取りをしたり、行事で子どもたちと草取りをして経費削減をしました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具、玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。 また日頃から職員が点検を行いました。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました。 遊戯室の改修工事をしていただき床がきれいになりました。 故障した玩具などはおもちゃ病院に修繕していただきました。(上半期42個修繕していただきました)
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。 個人情報が記載された用紙は厳重に管理し、使用后シュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 消防訓練を1回実施しました。 7月にコミュニティセンターと日光事務所と合同で行いました。 職員間で災害に対しての話をし、利用者に安全に利用していただけるよう確認を行いました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年7月4日～令和6年8月10日 回答者数: 100人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年7月4日～令和6年8月10日 回答者数: 150人(小学: 1年25人、2年16人、3年32人、4年17人、5年29人、6年11人) (中学: 1年10人、2年2人、3年6人)(高校: 1年2人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 則武(30人)、城西(22人)、島(14人)、早田(11人)、鷺山(6人)、長良東(3人)、合渡(2人)、その他市内(11人)、その他市外(1人) 【年齢】 10代(0%)、20代(6%)、30代(53%)、40代(33%)、50代以上(8%) 【利用頻度】 初めて(4%)、ほぼ毎日(1%)、週2～3回(4%)、週1回(19%)、2週に1回(26%)、月1回(32%)、その他(14%) 【来館相手】 子(88%)、孫(7%)、友人(2%)、その他(3%) 【子・孫の年齢】 0歳(5%)、1歳(11%)、2歳(24%)、3歳以上(19%)、小学1年(8%)、小学2年(13%)、小学3年(12%)、小学4年(0%)、小学5年(5%)、小学6年(2%)、無回答(1%) 【来館方法】 徒歩(14%)、自転車(2%)、自家用車(83%)、公共交通機関(0%) 【何で知った】 ホームページ(27%)、広報紙・チラシ(2%)、学校(13%)、保育所・幼稚園(1%)、知人・友人(27%)、ぎふし子育て応援アプリ(4%)、ソーシャルメディア(1%)、その他(23%)、無回答(2%) 【評価】 (あいさつ) 満足(94%)、ほぼ満足(4%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (言葉づかい) 満足(93%)、ほぼ満足(5%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (利用者対応) 満足(89%)、ほぼ満足(8%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (利用しやすさ) 満足(83%)、ほぼ満足(14%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (整理整頓) 満足(85%)、ほぼ満足(14%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (清潔感) 満足(81%)、ほぼ満足(13%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (換気) 満足(78%)、ほぼ満足(17%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 則武小(58人)、城西小(32人)、早田小(19人)、岐阜清流中(14人)、鷺山小(12人)、島小(5人)、西郷小(2人)、島中(2人)、県立岐阜商業高校(2人)、その他市内(4人) 【学年】 小学: 1年(17%)、2年(11%)、3年(21%)、4年(12%)、5年(19%)、6年(7%) 中学: 1年(7%)、2年(1%)、3年(4%) 高校: 1年(1%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(3%)、毎日(4%)、週4・5回(10%)、週2・3回(25%)、週1回(18%)、その他(39%)、無回答(1%) 【来館相手】 ひとり(14%)、友人(36%)、兄弟姉妹(20%)、父母(25%)、祖父母(1%)、親戚(2%)、その他(1%) 【来館方法】 徒歩(23%)、自転車(28%)、自家用車(48%)、バス・電車(0%)、その他(0%)、無回答(1%) 【好きな遊び】 ドッジボール(13%)、バトミントン(9%)、カロム(7%)、ぬりえ(6%)、ボードゲーム(6%)、本(6%)、人生ゲーム(5%)、その他(48%)

利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	<保護者> ・駐車場(近い)をあけてほしいです。 →ご意見ありがとうございます。第3駐車場はイベントがある時などにコミュニティーセンターにお願いし開けさせてもらっていますので普段は使用してないことが多いです。第1第2駐車場が児童センターの駐車場となりますのでご不便をおかけいたしますがそちらを利用していただけるようよろしくお願いいたします。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。 ・新しいおもちゃを導入してほしい →ご意見ありがとうございます。皆さんに喜んでいただける玩具を購入していきたいと思います。 ・同じクラブに通う子や親さんと交流ができればよかったです。自己紹介をし合ったり、悩み相談をし合うなど →ご意見ありがとうございます。クラブの1回目に毎回自己紹介の時間は設けております。保護者様同士の交流は大切なお時間であると思いますのでお子様を交えながら楽しく交流やお話の時間をもてるよう職員で内容を考えてまいります。 ・英語のイベントとかあれば →ご意見ありがとうございます。職員で相談し取り入れていけるよう考えてまいります。 ・時々、あつい →ご迷惑をおかけして申し訳ありません。温度調整はしております。気になる際にはお声かけいただけたら対応致します。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。 <児童> ・遊びにくい →ご意見ありがとうございます。どんな所が遊びにくいかわせてもらえると改善していけると思うので教えてくださいね。 ・本を増やしてほしい →ご意見ありがとうございます。どんな本が良いのか教えてくださいね。 ・先生を増やして →ご意見ありがとうございます。先生が多いと楽しいですね。伝えます。 ・バドミントンのコートの広さにしてほしい →ご意見ありがとうございます。遊戯室の大きさを変更することはできないので、今の広さで楽しんでもらえたら嬉しいです。 ・月曜日休み →ご意見ありがとうございます。月曜日は児童センターのお休みの日となっているのでごめんなさい。でも児童センターが大好きなんだな一と思うととても嬉しく思います。いつも遊びに来てくれてありがとう。 ・毎日もの作りをやってほしい →ご意見ありがとうございます。職員と相談して考えてみますね。どんな工作がやりたいか希望があれば教えてくださいね。 ・部屋がせまい →ご意見ありがとうございます。部屋を広くすることはできないのでごめんなさい。 ・フリーWiFiをつけてほしい →ご意見ありがとうございます。お願いしてみます。
------------------------------------	--

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	SS	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	SS	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

利用者アンケートの実施(公平性・透明性①)
 ・実施回数:1回(7月～8月に実施)
 ・保護者用(100名)
 今期も幼児クラブの保護者だけでなく、一般利用者(幼稚園児・保育園児・小学生の保護者など)にもアンケートを実施しました。より多くの利用者からアンケートをいただくことで、幅広い層からさまざまなご意見・ご要望をいただくことができました。
 「いつも子どもたちが利用させていただきありがとうございます。トラブルにも丁寧に対応して下さっている姿を見かけとても安心して遊べる場所になっています」「孫を初めて利用させていただきました。掃除も行き届き、整理整頓されていて気持ちよく使用できました。今後度々利用したいと思います」
 「何でも相談できますので自分のストレス発散です」
 「いつもアットホームな雰囲気です」
 「どなたもいつもフレンドリーで親子共々楽しく過ごすことができています。家から遠いですがお気に入りの児童館です」など好評の意見を多くいただきました。児童館を子どもだけでなく保護者の方も必要としていただいていることや、安心して遊べる居場所だと思っていただいていることをとても嬉しく思いました。これからも皆様に満足していただける児童センターになるよう努めて参ります。またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。
 ・児童用(150名)(再掲①④)
 より多くの児童から意見・要望をいただくため、アンケート調査を夏休みを挟んで行ないました。子どもたちのニーズを理解し、より心地良い児童館になるよう実施いたしました。その結果エリア以外の小学生・中学生にもアンケートをお願いできました。また好きな遊び・やってほしい遊び・あったらいいもの・おもちゃなどたくさんの意見を知ることができました。児童センターの好きなところでは
 「居心地がいい」「自由にあそべるところ」「みんながいること」「いつきても飽きない」「友だちがつくれるところ」「気軽に来れる」「くつろげる」「友だちと遊べて無料で提供してくれている」「困った時、いざという時頼れる」など意見をいただきました。また児童センターに行きたいと思った理由では「ひまだから(10人)」「ただで遊べるから」「家がつまらない」「家だとおもしろいことがない」「家に誰もいないから」「友だちがいるから」「友だちと会える」「友だちをつくる」「友だちが行くから」「友だちがおるで」「くつろげる」「第二の家だから」「ボランティアをしたいから」「先生に会いたいから」など意見をいただきました。「居場所作り」ということを意識なくとも子どもたちにとって児童センターは日常的に利用でき、安心な場所であることがわかりました。地域に溶け込み誰もが気軽に来れる存在でいられるようこれからも子どもたちとの関りを大切にし、遊びを通して成長できるよう支援していきたいと思います。
 またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。
 ・好きな体操・やってみたい体操についてのアンケート(再掲①③)
 幼児クラブに申し込みみえた保護者54名に任意で実施しました。希望の多かった「ピカピカプー」「アンパンマン体操」は幼児クラブで取り入れています。他にも希望の多かった「からだダンダン」「エビカニクス」も今後クラブで取り入れていきたいと思います。
 また体操ではないですが、「リトミック」「英語の手遊び・歌」などやってみたいという希望がありましたので考えていこうと思います。
 アンケートでの意見は全職員が共有し、利用者ニーズを把握し事業に反映しました。
 運営委員会の開催(公平性・透明性①)
 実施回数:上半期1回
 (内容等記入)
 ・令和5年度事業報告
 ・令和6年度運営方針・事業内容
 ・校區別交流会
 ・意見・要望等交換会
 ・児童センターは子どもにとって大切な場所。地域の中にこういう居場所があることがとてもありがたい。
 ・エールや児相に関わる子どもの80%以上がお世話になっている。
 ・不登校児童が増えている。虐待同様に取り組んでいかなければならない。
 学校だけでなくいろんな所に居場所を作りたいと考えている。
 などの意見をいただきました。
 これからも地域とのネットワークを大切にし、「子育て環境作り」「居場所作り」を進めていきたいと思います。
 広範で適切な情報提供・広報活動の実施(公平性・透明性②)
 ・中日新聞に掲載(再掲②③)
 普段から児童センターのボランティアとして清掃をしたりイベントを企画し活躍してくれている中学生ボランティアの2人と夏休み行事を考える中で、地域とのつながりを活性化するため地域の方にお願しようということになり、岐阜清流中学校の先生に講師を依頼し「マジックショー」を企画しました。当日中学校の先生方もお手伝いに来てくださり合同行事を開催することができました。
 夏の思い出になり大盛況でした。ボランティアの2人は「子どもたちに特別な機会をつくれた。うまいって喜んでくれてよかった」と話していました。
 子どもたちの様子が新聞にのったことで、子どもたちの主体性を大切にしていることやボランティアとして活動できることなど児童センターの役割を知っていただくきっかけになりました。
 ※2024 8月9日(金)中日新聞朝刊より
 ・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑥)
 Instagramを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できました。動画や音楽などを活用し、より親しみやすいInstagramを提供することができました。(上半期投稿回数75回、フォロワー150人)
 ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)
 毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。
 ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)
 毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも日光児童センターのPRを行うことができました。
 ・保健センター日光地区(島・城西・早田・則武)未就園児子育て情報誌に掲載
 児童センターの幼児クラブの活動を載せていただけ情報を提供できました。
 ・4地区合同赤ちゃんクラブでのPR
 移動児童館で参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。
 ・おたよりの配布
 幼稚園・保育園・小中学校・特別支援学校・コミュニティセンターなど16カ所に毎月おたよりを配布し情報を提供しました。
 ・早田校区、島校区でのPR
 親子ふれあい教室の移動児童館に参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。

今期の取組み
に対する評価

・城西校区でのPR
青少年育成市民会議の行事に参加し児童センターの行事などの情報を提供しました。

・ホームページでの情報提供
ホームページの更新、最新情報を提供しました。

・業務改善や工夫（効果性③）

・センターたより
子どもたちに絵を描いてもらい、毎月のおたよりに載せました。「私も、僕も載せてほしい」とたくさんの子どもたちが絵を描いてくれました。

小学校の先生に「これをみて子どもたちを褒めたり応援することができます。」と喜んでもらえました。

・ぬりえコーナー
児童センターで人気のぬりえコーナーに子どもたちの手作りぬりえを15種類増やしました。いろんなキャラクターが増えとても喜んでます。職員が頼んだわけではなく子どもたちが自主的にぬりえにしてほしいと描いてくれるのもとても良いことだと思っています。

新しいぬりえがたくさん増え利用者に喜ばれています。

・小・中学生役割分担
児童センターに遊びに来ている小・中学生が児童センターでの役割を自分たちで決めました。

・子ども館長
・副館長
・子ども遊び係長
・おたよりなどのデザイナー
・プレゼントを作る人

などです。事業を計画・運営し活動しています。

・好きな体操・やってみたい体操についてのアンケート（再掲①⑤⑥）
幼児クラブに申し込みにみえた保護者54名に任意で実施しました。

希望の多かった「ピカピカブー」「アンパンマン体操」は幼児クラブで取り入れています。他にも希望の多かった「からだダンダン」「エビカニクス」も今後クラブで取り入れていきたいと思います。

また体操ではないですが、「リトミック」「英語の手遊び・歌」などやってみたいと希望がありましたので考えていこうと思います。

・幼児クラブの見直し（再掲③⑤⑥）
体操や内容がマンネリ化していたため見直しました。1歳児クラス、2、3歳児クラスの体操を新しいものに変更しました。また内容も家ではできない「絵の具遊び」「新聞紙遊び」を取り入れました。また毎回絵本や紙芝居を読む時間を作りました。「家ではできない遊びがありとても楽しかった」「先生方の工夫した遊びも楽しかった」「楽しくいろんなことを考えてくださっていつも楽しみにしています」など感想をいただきました。

0歳児クラスに学期に1回保健師さんに来ていただいています。1学期は「子どもの熱中症」のお話を聞きました。その後育児相談をしていただき育児に悩んでみる方に寄り添えるよう努めました。

・人気のある小学生行事の開催（再掲③⑤⑥）
人気のある「ドッジボール」「カロム」などの行事を多く取り入れるようにしました。

今年度は毎月カロム大会を行い、優勝者を掲示し年間チャンピオンを目指す目標を作りました。チャンピオンを目指して毎日のように練習にくる子どもたちがいました。好きなことをみつけ一生懸命練習する姿はとても素敵で、みるみるうちに上達していききました。勝って達成感や成功体験を感じたり負けて悔しい思いをしたりカロムという遊びからいろんな学びを体験していることを感じました。

・将棋で遊ぶの開催（地域ボランティア）（再掲③⑭⑮）
今年度も地域の方に先生をお願いして、毎月2回～3回将棋を教えていただきました。毎回保護者の方が送り迎えをしてくださり参加する子・将棋の本をもって来る子など児童センターに将棋を目的に来る子が増えました。アンケートの児童センターの好きなところには「将棋があること（2人）」「将棋ができる」と書いてありました。

地域の方とのつながりのありがたさに感謝し、これから地域の方やボランティアと一緒に子どもたちを見守っていききたいと思っています。

・サイエンスショーの開催（再掲③⑭）
令和4年度から2回/年、各児童館で開催しているサイエンスショーの内容について、これまでの開催経験を踏まえ、「子ども参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」、「華やかさ・わくわく感が感じられるもの」など各施設からの要望に沿った内容のショーを開催し、子どもたちが驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。

・大学生のお兄さんに勉強を教えてもらおうの開催
・大学生のお兄さんとドッジボールで遊ぶの開催
今年度も子どもたちの学習支援になるよう岐阜大学の学生に勉強を見てもらいました。今期も定員なしで行い宿題や問題集などを教えていただきました。

また、夏休み中は勉強だけでなく、子どもたちとドッジボールで遊んでいただきました。

・リユースの取り組み（再掲③⑨）
エレクトーンの寄附がありました。今まで楽器がなかったので子どもたちからは大人気です。幼児から大人まで楽しく使っています。

おもちゃや本の寄附があり、きれいに使用しています。寄附していただく物はとてもきれいで大切に使われていたことがわかります。「子どもが使っていた物がまたここで子どもたちに使ってもらえて本当にうれしい」と言われました。子どもたちや保護者の方からも「新しいおもちゃがある」ととても喜んで使っていました。

・自由遊び（再掲③⑤⑥）
毎月行っている幼児向け自由参加のクラブの内容を、既存の遊具を使った遊びから「作って遊ぶ」と創造性を使った内容に変更した所、参加者が増えてきました。毎月楽しみにくださる親子さんもみえます。

新規事業（行事）等の実施（効果性③）
子どもたちの主体性を生かした新規事業の開催

・バトミントン大会－4回
小学校5年生子ども遊び係長の男児T君が企画 賞状を作り表彰式まで行ってくれました。小学校の先生がセンターたよりを見て「児童センターでこんな活動をしているんですね。」と喜んでもらえました。T君も先生に褒めてもらえたと話していました。学校との繋がりになりました。

・もふもふポケット作り
小学校3年生女児Hさんが企画 母親と内容を考え試作品を持ってきてくれました。その後職員と準備し行事を行いました。

今期の取組み
に対する評価

・キックベースで遊ぼう
小学校5年生子ども副館長の女兒MさんHさんが企画し行事を行ってくれました。

・アロハエコモマイを踊ろう
小学校5年生女兒Yさんが企画し、行事を行ってくれました。当日は母親が応援にきてくれました。

・ペットボトルで風鈴作り
小学校3年生女兒Hさんが企画 母親と内容を考え試作品を持ってきてくれました。その後職員と準備し行事を行いました。

・ペンシルバルーン作り
中学校3年生子ども館長の女子Nさんが企画 前日から中学校の先生が手伝いに来てくださり打合せを行いました。当日は中学校の先生が3人お手伝いに来てくださり大盛況でした。

・ドッジボールで遊ぼう
小学校4年生男児Y君R君が企画し、行事を行ってくれました。

・手形スタンプ
小学校4年生女兒Hさんが企画し、行事を行ってくれました。

・モルックで遊ぼう
小学校5年生子ども副館長女兒Mさんが企画、賞状とプレゼントを作り表彰式を行いました。

・新1年生を迎える会
小学校5年生子ども副館長女兒Mさんが中心となり多くの子どもたちが計画から当日の運営まで行いました。司会進行も上手くてわかりやすかったです。プラキーホルダーを作ったり、ゲームをしたりとても楽しい内容でした。プレゼント渡しや片付けなどもみんなで行いました。

・指人形作り(講師)
講師の先生を依頼し指人形作りを企画しました。全6回行い、12月に発表会を計画しています。子どもたちにお話の楽しさや演じることの楽しさを伝えていきたいという思いで企画しました。講師は小学生の頃児童センターで人形劇クラブに参加してとても楽しかった経験が今に繋がったと話して見えました。子どもたちにたくさんの経験の機会を与えていくことの大切さを改めて感じました。

・紙芝居を読む会—5回
ボランティアがサポートに入り、小学校2年生女兒Mさん3年生女兒KさんAさん5年生女兒YさんHさんMさんと一緒に紙芝居の読み聞かせを幼児対象に行いました。小学生が読んでいるのを見て「自分も読みたい」と幼稚園児が飛び入りで読んでくれたこともありました。「とても楽しかった。また聞きたいです」と言われる方もみえました。幼児と小学生の関りもできるのでこれからも継続していこうと思います。

・マジックショーの開催(再掲②③⑤)(講師)
普段から児童館のボランティアとして清掃をしたりイベントを企画し活躍してくれている中学生ボランティアの2人と夏休み行事を考える中で、地域とのつながりを活性化するため地域の方にお願しようということになり、岐阜清流中学校の先生に講師を依頼し「マジックショー」を企画しました。当日中学校の先生方もお手伝いに来てくださり合同行事を開催することができました。夏の思い出になり大盛況でした。ボランティアの2人は「子どもたちに特別な機会をつくれた。うまくいって喜んでくれてよかった」と話していました。

※2024 8月9日(金)中日新聞朝刊より

・お話を語る会(再掲③⑥⑩)(講師)
毎月2回「読み語りルンルン」の先生方に来ていただき、30分ほど絵本・大型絵本・紙芝居・手遊び・歌などを企画し、幼児から小学生対象に行いました。毎回いろんな先生がみえます。語り方も違うし、個性的で楽しい先生ばかりです。読み語りの中に落語を取り入れた月もあり日本の伝統芸能を伝えることもできました。また多種多様な絵本・紙芝居を見ることができるので子どもたちも楽しみにしているし、職員の勉強にもなります。

・タイلでデココースター作り(再掲③⑭)(母親クラブ共催)
母親クラブの企画で、夏休みに「タイルでデココースター作り」を開催しました。たくさんの子どもの参加があり大盛況でした。

・パネルシアターを見る会(再掲③⑭)(講師)
うめっこ座さんに来ていただき幼児対象にパネルシアターを見る会を行いました。普段職員が行うパネルシアターとは違い、舞台があり音楽も豪華で幼児も保護者も夢中でみていました。

・科学工作講師によるおもちゃ作り(再掲③⑭)(講師)—2回
「ぐるぐるモーターで動くがちゃまる君作り」
「CDケースの電子オルゴール作り」
科学工作は職員ではなかなかできないことなので、行事に取り入れることができとても良かった。1、2年生の子は保護者と一緒に参加できたので学年を限定しないで申し込みが出来良かった。子どもたちは先生に教えていただき真剣に取り組んでいました。出来上がった作品が動いたり、音がなったりするのでとても感動していました。職員でできない分野は講師の力を借りてこれからも行事をお願いしていきたいと思ひます。

・ボランティア行事(再掲③⑭)
ボランティアさんが「レクリエーション」「ボードゲームで遊ぼう」「ボーリングで遊ぼう」「レインスティック作り」「モルックで遊ぼう」を企画し開催しました。ボランティアさんは子どもたちの心を受け止めて思いっきりとことん付き合ってくれるので子どもたちから大人気です。アンケートに「ボランティアさんにもっと来てほしい。」という意見があるほど児童センターに欠かせない存在です。

・高校生行事—2回
小学生の頃から児童センターを利用していた子どもが高校生になり、「バトミントン教室」を開催してくれました。普段もよく遊びに来てくれ子どもたちの遊び相手になってくれます。

・園庭の草取り(再掲③⑨)
小学生・中学生・ボランティアと園庭の草取りを行いました。「普段お世話になっているからお手伝いに来た」という子や親に言われたから来たという子など思っていた以上の参加がありました。大変な作業ですが、とても楽しそうに草を抜いたり運んだりしていました。行事終了後「ありがとう」の気持ちを伝えると嬉しそうでした。誰かのためになることや感謝されること期待されることなどの経験ができることを考えていこうと思います。

・大人向け講座
ファイナンシャルプランナー子育て・教育資金アドバイザーの方に子育て世代のお金の勉強会を開催しました。

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

・バトミントン大会—4回
小学校5年生子ども遊び係長の男児T君が企画 賞状を作り表彰式まで行ってくれました。小学校の先生がセンターよりを見て「児童センターでこんな活動をしているんですね。」と喜んでもらえました。T君も先生に褒めてもらえたと話していました。学校との繋がりになり良かったです。

今期の取組み
に対する評価

・もふもふポケット作り
小学校3年生女児Hさんが企画 母親と内容を考え試作品を持ってきてくれました。その後職員と準備し行事を行いました。

・キックベースで遊ぼう
小学校5年生子ども副館長の女児MさんHさんが企画し行事を行ってくれました。

・アロハエコモマイを踊ろう
小学校5年生女児Yさんが企画し、行事を行ってくれました。当日は母親が応援にきてくれました。

・ペットボトルで風鈴作り
小学校3年生女児Hさんが企画 母親と内容を考え試作品を持ってきてくれました。その後職員と準備し行事を行いました。

・ペンシルバルーン作り
中学校3年生子ども館長の女子Nさんが企画 前日から中学校の先生が手伝いに来てくださり打合せを行いました。当日は中学校の先生が3人お手伝いに来てくださり大盛況でした。

・ドッジボールで遊ぼう
小学校4年生男児Y君R君が企画し、行事を行ってくれました。

・手形スタンプ
小学校4年生女児Hさんが企画し、行事を行ってくれました。

・モルックで遊ぼう
小学校5年生子ども副館長の女児Mさんが企画、賞状とプレゼントを作り表彰式を行いました。

・マジックショーの開催(再掲②③⑤)(講師)
普段から児童館のボランティアとして清掃をしたりイベントを企画し活躍してくれている中学生ボランティアの2人と夏休み行事を考える中で、地域とのつながりを活性化するため地域の方にお願しようということになり、岐阜清流中学校の先生に講師を依頼し「マジックショー」を企画しました。当日中学校の先生方もお手伝いに来てくださり合同行事を開催することができました。

夏の思い出になり大盛況でした。ボランティアの2人は「子どもたちに特別な機会をつくれた。うまくいって喜んでくれてよかった」と話していました。

※2024 8月9日(金)中日新聞朝刊より

・紙芝居を読む会—5回
ボランティアがサポートに入り、小学校2年生女児Mさん3年生女児KさんAさん5年生女児Yさんと一緒に紙芝居の読み聞かせを幼児対象に行いました。小学生が読んでいるのを見て「自分も読みたい」と幼稚園児が飛び入りで読んでくれた時もありました。「とても楽しかった。また聞きたいです」と言われる方もみえました。幼児と小学生の関りもできるのでこれからも継続していこうと思います。

フリースペースの子どもたち(再掲③④⑭)
岐阜清流中学校のフリースペースの子どもたちと協力し幼児クラブのお楽しみ会を行いました(5回)はるまつりのお手伝いがとても楽しかったのでまたやりたいと子どもたちから声をかけてくれました。いろんな場所に出かけいろんな人と関われる機会を持てるよう支援をしていきたいと思っているので今回も良い機会になりました。子どもたちのためにアンパンマンのメダルをたくさん作ってくれました。当日はお店屋さんごっこ・体操・シールはり・後片付けまでお手伝いをしてくれました。メダル渡しは中学生にお願いしました。幼児や保護者から「ありがとう」と言われとても嬉しそうにしていました。これからも子どもたちがやりたいことに会えるような支援を続けていきたいです。

・中学生ボランティアの活動(再掲③④⑭)
日頃から児童センターのボランティアに主体的に来てくれる子たちがいます。今期も行事の準備から当日のお手伝いまで行ってくれました。

「ペンシルバルーン作り」「マジックショー」など
また児童センターの後片付け・清掃・子どもの遊び相手もしてくれとても助かっています。

利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映(効果性④)

・利用者アンケートでのご意見
利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、館の運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。

また、実行できないものについては実行できない理由を説明し、ご理解をいただけるよう務めました。

・保護者用アンケート(再掲①④)
今期のアンケートの満足度調査では、〈職員について〉の3項目(あいさつ、言葉づかい、利用者対応)の「満足」と「ほぼ満足」の合計の平均は97%と、高い満足度評価をしていただけました。

〈施設について〉の4項目(利用しやすさ、整理整頓、清潔感、換気)では、利用しやすさ、整理整頓、清潔感の「満足」と「ほぼ満足」の合計の平均は96%と高い満足度評価をしていただけました。これからも利用者に満足していただけるよう温かい心で精一杯務めていきます。

・児童用アンケート(再掲①④)
児童館の好きなところでは
「居心地がいい」「自由にあそべる場所」「みんながいること」「いつきても飽きない」「友だちがつくれるところ」「気軽に来れる」「くつろげる」「友だちと遊べて無料で提供してくれている」「困った時、いざという時頼れる」など意見をいただきました。

また児童館に行きたいと思った理由では「ひまだから(10人)」「ただで遊べるから」「家がつまらない」「家だとおもしろいことがない」「家に誰もいないから」「友だちがいるから」「友だちと会える」「友だちをつくる」「友だちが行くから」「友だちがおるで」「くつろげる」「第二の家だから」「ボランティアをしたいから」「先生に会いたいから」など意見をいただきました。「居場所作り」ということを意識しなくても子どもたちにとって児童館は日常的に利用でき、安心な場所であることがわかりました。地域に溶け込み誰もが気軽に来れる存在でいられるようこれからも子どもたちとの関りを大切にし、遊びを通して成長できるよう支援していきたいと思います。

アンケートでの意見は全職員が共有し、利用者ニーズを把握し事業に反映
◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。

・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮)
・岐阜清流中学校のフリースペースの1つとして活用してもらっています。担当教諭と生徒が遊戲室で体育の授業を実施しています。バトミントン・卓球・バレーボールなどを行っています。

4月～9月—45回 利用者数—延べ237人

今期の取組み
に対する評価

フリースペースの子どもたち(再掲③④⑭)

岐阜清流中学校「フリースペースの子どもたちと協力し幼児クラブのお楽しみ会を行いました(5回)はるまつりのお手伝いがとても楽しかったのでまたやりたいと子どもたちから声をかけてくれました。いろんな場所に出かけいろんな人と関われる機会を持てるよう支援をしていきたいと思っているので今回も良い機会になりました。子どもたちのためにアンパンマンのメダルをたくさん作ってくれました。当日はお店屋さんごっこ・体操・シールはり・後片付けまでお手伝いをしてくださいました。メダル渡しは中学生にお願いしました。幼児や保護者から「ありがとう」と言われとても嬉しそうにしていました。これからも子どもたちがやりたいことに出会えるような支援を続けていきたいです。

・中学生ボランティアの活動(再掲③④⑭)

日頃から児童センターのボランティアに主体的に来てくれる子たちがいます。今期も行事の準備から当日のお手伝いまで行ってくれました。

「ペンシルバルーン作り」「マジックショー」など

また児童センターの後片付け・清掃・子どもの遊び相手もしてくれとても助かっています。

・学校との連携(再掲④⑬⑭)

配慮が必要な児童の様子など小学校や中学校と情報共有し見守っています。則武小・早田小・清流中学校の校長先生の携帯番号を教えていただき必要ときは電話やメールで連絡を取り合い対応しました。

また岐阜清流中学校の校長先生や則武小学校の校長先生と支援が必要な子どもたちの情報共有をし見守りました。

・事務室を開放しているので子どもたちのコミュニケーションスペースになっています。家庭・学校・友だちのことなど話してくれます。また進路相談・恋愛相談・両親の相談をしにきてくれる子もいます。児童館がこれからも子どもたちの居場所であり続けていけるよう努めていきます。

・今後も配慮を要する子どもたちを長期的に見てその子が成長できるように職員は今以上に意識して子どもたちを支援していきます。

・他施設の事例研究

当事業団が管理する児童館・児童センター9館の所長会で、他施設で実際に起きた事例を研究し、配慮を必要とする子どもが利用された際、どの施設でも適切に対応できるようにしました。

利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤)

・団体利用(再掲⑤⑥⑭)

・今期も「GIFUシングルマザー＆ファザーのホットサロン」の会が隣接するコミュニティーセンターで行われました。ひとり親cheersの方たちが団体利用で児童館を利用し子どもたちを預かってみえました。「ここは子どももスタッフも安心できる場所なのでとても助かります。」と喜ばれていました。

ひとり親cheersー4回

・自主サークルの「則武キッズ」「早田キッズ」の方たちが利用されました。児童センターの遊具も貸出し地域の子育てを頑張る母親たちの応援ができるようこれからも務めていきます。

則武キッズー5回 早田キッズー1回

・Gツイズ(双子さんサークル)の方たちの利用がありました。児童センターの遊具を貸出し楽しく活動をしていました。

・放課後等デイサービスの方たちが利用されました。

HOMEBASEー7回

ラビットキッズ岐阜ー1回

ヒトノエー1回

キッズボンド大福ー1回

子どもたちに関係するいろんな団体の方に利用していただけることで児童センターを知っていただけ児童センターの役割も広がるように思いました。

・コミュニケーション

送迎をされる保護者にあいさつをして話しかけ、コミュニケーションを取ることを心がけました。気さくに話をしてくださる方が増え、「安心して子どもを遊ばせられます」と言われる保護者の方が何人もみえました。

・幼児クラブの見直し(再掲③⑤⑥)

体操と内容がマンネリ化していたため見直しました。1歳児クラス、2、3歳児クラスにの体操を新しいものに変更しました。また内容も家ではできない「絵の具遊び」「新聞紙遊び」を取り入れました。また毎回絵本や紙芝居を読む時間を作り、ました。「家ではできない遊びがありとても楽しかった」「先生方の工夫した遊びも楽しかった」「楽しくいろんなことを考えてくださっていつも楽しみにしています」など感想をいただきました。

0歳児クラスに学期に1回保健師さんに来ていただいています。1学期は「子どもの熱中症」のお話を聞きました。その後育児相談をしていただき育児に悩んでみえる方に寄り添えるよう努めました。

・体操の実施(再掲①③⑤⑥)

幼児クラブに申し込みにみえた保護者54名に任意で実施しました。

希望の多かった「ピカピカプー」「アンパンマン体操」は幼児クラブで取り入れています。他にも希望の多かった「からダダンダン」「エビカニクス」も今後クラブで取り入れていきたいと思います。

また体操ではないですが、「リトミック」「英語の手遊び・歌」などやってみたくて希望がありましたので考えていこうと思います。

・自由遊び(再掲③⑤⑥)

毎月行っている幼児向け自由参加のクラブの内容を、既存の遊具を使った遊びから「作って遊ぼう」と創造性を使った内容に変更した所、参加者が増えました。毎月楽しみ参加してくださる親子さんもみえます。

・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑤⑥)

人気のある「ドッジボール」「カロム」などの行事を多く取り入れるようにしました。

今年度は毎月カロム大会を行い優勝者を掲示し年間チャンピオンを目指す目標を作りしました。チャンピオンを目指して毎日のように練習にくる子どもたちがいました。好きなことをみつけ一生懸命練習する姿はとても素敵で、みるみるうちに上達していききました。勝って達成感や成功体験を感じたり負けて悔しい思いをしたりカロムという遊びからいろんな学びを体験していることを感じました。

利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)

・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑥)

インスタグラムを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できました。動画や音楽などを活用し、より親しみやすいインスタグラムを提供することができました。(上半期投稿回数75回、フォロワー150人)

・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)

毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも日光児童センターのPRを行うことができました。

今期の取組み
に対する評価

・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)
毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知ってもらえきっかけとなりました。

・幼児クラブ申し込み連携
登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

・団体利用(再掲⑤⑥⑭)
・今期も「GIFUシングルマザー＆ファザーのホットサロン」の会が隣接するコミュニティーセンターで行われました。ひとり親cheersの方たちが団体利用で児童館を利用し子どもたちを預かってみえました。「ここは子どももスタッフも安心できる場所なのでとても助かります。」と喜ばれていました。
ひとり親cheers—4回

・自主サークルの「則武キッズ」「早田キッズ」の方たちが利用されました。児童センターの遊具も貸出し地域の子育てを頑張る母親たちの応援ができるようこれからも務めていきます。
則武キッズ—5回 早田キッズ—1回

・Gツインズ(双子さんサークル)の方たちの利用がありました。児童センターの遊具を貸出し楽しく活動をしていました。
・放課後等デイサービスの方たちが利用されました。
HOMEBASE—7回
ラビットキッズ岐阜—1回
ヒトノネ—1回
キッズボンド大福—1回

子どもたちに関係するいろんな団体の方に利用していただけることで児童センターを知っていただけ児童センターの役割も広がるように思いました。

・大人のボランティアの存在(再掲⑥⑦)
日光児童センターに定期的に来ていただいている大人のボランティアの方々がみえます。この方たちは行事を企画したり、お手伝いをしてくれたりすることはもちろん、普段の子どもたちの遊び相手になってくれます。勉強・恋愛・学校のことなど親身に話をきいてくれたり、掃除・片付けなども手伝ってくれます。定期的にきてくれる方が3人程見えますが、それぞれの特技を生かして行事を企画したり子どもをそのまま受け止めてくれます。日光児童センターでは大きな存在であり小学生・中学生からも大人気です。ボランティアと遊びたい・話したいと来てくれる子どもたくさんいます。職員とは違う素敵な大人がたくさんいることはいろんな人に関わる経験もできるし、いろんな遊びを教えてもらえるしとにかく楽しい！職員だけでなくいろんな素敵な人たちと関われるような体制を今後も取っていきたいです。
4月～9月—102回来てくれました。

・体操の実施(再掲①③⑤⑥)
幼児クラブに申し込みにみえた保護者54名に任意で実施しました。
希望の多かった「ピカピカブー」「アンパンマン体操」は幼児クラブで取り入れています。他にも希望の多かった「からダダンダン」「エビカニクス」も今後クラブで取り入れていきたいと思えます。
また体操ではないですが、「リトミック」「英語の手遊び・歌」などやってみたいと希望がありましたので考えていこうと思えます。

・幼児クラブの見直し(再掲③⑤⑥)
体操や内容がマンネリ化していたため見直しました。1歳児クラス、2、3歳児クラスにの体操を新しいものに変更しました。また内容も家ではできない「絵の具遊び」「新聞紙遊び」を取り入れました。また毎回絵本や紙芝居を読む時間を作り、ました。「家ではできない遊びがありとても楽しかった」「先生方の工夫した遊びも楽しかった」「楽しくいろんなことを考えてくださっていつも楽しみにしています」など感想をいただきました。
0歳児クラスに学期に1回保健師さんに来ていただいています。1学期は「子どもの熱中症」のお話を聞きました。その後育児相談をしていただき育児に悩んでみる方に寄り添えるよう努めました。

・自由遊び(再掲③⑤⑥)
毎月行っている幼児向け自由参加のクラブの内容を、既存の遊具を使った遊びから「作って遊ぼう」と創造性を使った内容に変更した所、参加者が増えてきました。毎月楽しみに参加してくださる親子さんもみえます。

・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑤⑥)
人気のある「ドッジボール」「カロム」などの行事を多く取り入れるようにしました。
今年度は毎月カロム大会を行い優勝者を掲示し年間チャンピオンを目指す目標を作りしました。チャンピオンを目指して毎日のように練習にくる子どもたちがいました。好きなことをみつけ一生懸命練習する姿はとても素敵で、みるみるうちに上達していききました。勝って達成感や成功体験を感じたり負けて悔しい思いをしたりカロムという遊びからいろんな学びを体験していることを感じました。

・お話を語る会(再掲③⑥⑭)(講師)
毎月2回「読み語りルンルン」の先生方に来ていただき、30分ほど絵本・大型絵本・紙芝居・手遊び・歌などを企画し、幼児から小学生対象に行いました。毎回いろんな先生がみえます。語り方も違うし、個性的で楽しい先生ばかりです。読み語りの中に落語を取り入れた月もあり日本の伝統芸能を伝えることもできました。また多種多様な絵本・紙芝居を見ることがができるので子どもたちも楽しみにしているし、職員の勉強にもなります。
職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加(安定性・安全性⑫)

・普通救命講習
6月：岐阜市消防本部・岐阜中消防署員
内容：小児や乳幼児に対する心肺蘇生法やAED、止血法など。

・虐待防止研修会(再掲⑫⑬)
5月：事務局・岐阜県警察本部生活安全部少年課少年サポートセンター職員
内容：児童虐待の実態、最近の子どもについて、少年サポートセンターの役割など。

・熱中症対策研修会
7月：事務局・岐阜市南保健センター職員
内容：子どもの熱中症対策、熱中症にかかった時の応急措置など。

・新規採用者研修会
7月：事務局・事業団職員
内容：新たに児童館・児童センターに配属された職員を対象に、児童館ガイドラインの内容を理解し、児童館運営の充実に役立てるため、児童館ガイドラインの策定に携わった当事業団役員が講師となり開催。

・感染症対策研修会
8月：オンライン
内容：感染症の理解、感染発生時の対応、職員の注意ポイントなど。

・発達障害の理解と支援
9月：事務局・エールぎふ職員
・つなぐて読み聞かせ会見学
内容：障害の特性を理解し、子どもたちに対して肯定的な対応をするなど、職員が気を付けることを学ぶ。

今期の取組み
に対する評価

7月:ツナグテ・ツナグテ職員
・職員スキルアップ研修会(6月～1月、6回/年開催、上半期は2回開催) 各児童館・児童センター職員1名以上が参加
6月:・西児童センター
内容:絵本の読み聞かせ方について
7月:本郷児童センター
内容:おすすめのおもちゃ・ゲーム
危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備(安定性・安全性⑬)
・災害対策マニュアル 危機管理マニュアル
・不審者対応マニュアル 地震防災マニュアル
・緊急地震速報受信時対応マニュアル
・病害虫防除マニュアル 食中毒・感染症等対応マニュアル
・社会福祉施設避難確保計画(対象災害:水害(洪水))
リスク防止策の実践(安定性・安全性⑬)
・虐待防止委員会の開催
当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。各施設での事例を参考に虐待防止に向けた対応策について研究しました。
・虐待防止研修会の開催(再掲⑫⑬)
虐待防止研修会を開催し、児童館・児童センター職員として子どもの虐待防止に向けた適切な対応ができるよう取り組みました。児童館全職員が共通理解、共通認識を取ることができました。
・合同避難訓練の実施
日光児童センターはコミュニティセンター・日光事務所との複合施設であることから、合同で消防訓練を実施しています。火災の際の避難誘導をより迅速・的確に行う必要があり、職員一人ひとりの日頃の準備が大切です。
・電子メールの誤送信対策の徹底
日光児童センターでは、メールアドレスを他者に漏洩することがないよう電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。
・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮)
・岐阜清流中学校のフリースペースの1つとして活用してもらっています。担当教諭と生徒が遊戯室で体育の授業を実施しています。バトミントン・卓球・バレーボールなどを行っています。
4月～9月—45回 利用者数—延べ237人
・学校との連携(再掲④⑬⑭)
配慮が必要な児童の様子など小学校や中学校と情報共有し見守っています。則武小・早田小・清流中学校の校長先生の携帯番号を教えてください必要ときは電話やメールで連絡を取り合い対応しました。
また岐阜清流中学校の校長先生や則武小学校の校長先生と支援が必要な子どもたちの情報共有をし見守りました。
・事務室を開放しているので子どもたちのコミュニケーションスペースになっています。家庭・学校・友だちのことなど話してくれます。また進路相談・恋愛相談・両親の相談をしにきてくれる子もいます。児童館がこれからも子どもたちの居場所であり続けていけるよう努めています。
・今後も配慮を要する子どもたちを長期的に見てその子が成長できるように職員は今以上に意識して子どもたちを支援していきます。
・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮)
子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。
・職員による施設の安全点検、おもちゃ点検を毎月実施しました。
・コロナ感染等により、施設職員が一定期間出勤できない状況が起きた際でも、施設業務に支障がないよう、事務局職員や他児童館職員が応援できる体制としました。
地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭)
・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮)
・岐阜清流中学校のフリースペースの1つとして活用してもらっています。担当教諭と生徒が遊戯室で体育の授業を実施しています。バトミントン・卓球・バレーボールなどを行っています。
4月～9月—45回 利用者数—延べ237人
フリースペースの子どもたち(再掲③④⑭)
岐阜清流中学校のフリースペースの子どもたちと協力し幼児クラブのお楽しみ会を行いました(5回)はるまつりのお手伝いがとても楽しかったのでまたやりたいと子どもたちから声をかけてくれました。いろんな場所に出かけいろんな人と関われる機会を持てるよう支援をしていきたいと思っているので今回も良い機会になりました。子どもたちのためにアンパンマンのメダルをたくさん作ってくれました。当日はお店屋さんごっこ・体操・シールはり・後片付けまでお手伝いをしてくれました。メダル渡しは中学生にお願いしました。幼児や保護者から「ありがとう」と言われとても嬉しそうにしていました。これからも子どもたちがやりたいことに会えるような支援を続けていきたいです。
学校との連携(再掲④⑬⑭)
配慮が必要な児童の様子など小学校や中学校と情報共有し見守っています。則武小・早田小・清流中学校の校長先生の携帯番号を教えてください必要ときは電話やメールで連絡を取り合い対応しました。
また岐阜清流中学校の校長先生や則武小学校の校長先生と支援が必要な子どもたちの情報共有をし見守りました。
・事務室を開放しているので子どもたちのコミュニケーションスペースになっています。家庭・学校・友だちのことなど話してくれます。また進路相談・恋愛相談・両親の相談をしにきてくれる子もいます。児童館がこれからも子どもたちの居場所であり続けていけるよう努めています。
・今後も配慮を要する子どもたちを長期的に見てその子が成長できるように職員は今以上に意識して子どもたちを支援していきます。
・団体利用(再掲⑤⑥⑭)
・今期も「GIFUシングルマザー＆ファザーのホットサロン」の会が隣接するコミュニティセンターで行われました。ひとり親cheersの方たちが団体利用で児童館を利用し子どもたちを預かってみえました。「ここは子どももスタッフも安心できる場所なのでとても助かります。」と喜ばれていました。
ひとり親cheers—4回
・自主サークルの「則武キッズ」「早田キッズ」の方たちが利用されました。児童センターの遊具も貸出し地域の子育てを頑張る母親たちの応援ができるようこれからも務めていきます。
則武キッズ—5回 早田キッズ—1回
・Gツイズ(双子さんサークル)の方たちの利用がありました。児童センターの遊具を貸出し楽しく活動をしていました。
・放課後等デイサービスの方たちが利用されました。
HOMEBASE—7回
ラビットキッズ岐阜—1回
ヒトノネ—1回
キッズボンド大福—1回
子どもたちに関係するいろんな団体の方に利用していただけることで児童センターを知っていただけ児童センターの役割も広がるように思いました。

今期の取組み
に対する評価

・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用（貢献性⑭）
当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。

・おもちゃ病院（再掲⑨⑭）
おもちゃ病院に壊れたおもちゃを修理していただき使用しました。
4月～9月—42点

・タイルでデココースター作り（母親クラブ共催）
母親クラブの企画で、夏休みに「タイルでデココースター作り」を開催しました。たくさんの子どもの参加があり大盛況でした。

・将棋で遊ぶの開催（地域ボランティア）（再掲③⑭⑮）
今年度も地域の方に先生をお願いして、毎月2回～3回将棋を教えていただきました。毎回保護者の方が送り迎えをしてくださり参加する子・将棋の本をもって来る子など児童センターに将棋を目的に来る子が増えました。アンケートの児童センターの好きなところには「将棋があること（2人）」「将棋ができる」と書いてありました。

地域の方とのつながりのありがたさに感謝し、これからも地域の方やボランティアと一緒に子どもたちを見守っていきたいと思います。

・お話を語る会（講師）（再掲③⑥⑭）
毎月2回「読み語りルンルン」の先生方に来ていただき、30分ほど絵本・大型絵本・紙芝居・手遊び・歌などを企画し、幼児から小学生対象に行いました。毎回いろんな先生がみえます。語り方も違うし、個性的で楽しい先生ばかりです。読み語りの中に落語を取り入れた月もあり日本の伝統芸能を伝えることもできました。また多種多様な絵本・紙芝居を見ることができるので子どもたちも楽しみにしているし、職員の勉強にもなります。

パネルシアターを見る会（再掲③⑭）（講師）
うめっこ座さんに来ていただき幼児対象にパネルシアターを見る会を行いました。普段職員が行うパネルシアターとは違い、舞台があり音楽も豪華で幼児も保護者も夢中でみていました。

・科学工作講師によるおもちゃ作り（再掲③⑭）（講師）—2回
「ぐるぐるモーターで動くがちゃまる君作り」
「CDケースの電子オルゴール作り」
科学工作は職員ではなかなかできないことなので、行事に取り入れることができとても良かったです。1、2年生の子は保護者と一緒に参加できたので学年を限定しないで申し込みが出来良かったです。子どもたちは先生に教えていただき真剣に取り組んでいました。出来上がった作品が動いたり、音がなったりするのでとても感動していました。職員でできない分野は講師の力をお借りしてこれからも行事をお願いしていきたいと思っています。

・サイエンスショーの開催（再掲③⑭）
令和4年度から2回/年、各児童館で開催しているサイエンスショーの内容について、これまでの開催経験を踏まえ、「子どもも参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」、「華やかさ・わくわく感が感じられるもの」など各施設からの要望に沿った内容のショーを開催し、子どもたちが驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。

・中学生ボランティアの活動（再掲③⑭）
日頃から児童センターのボランティアに主体的に来てくれる子たちがいます。今期も行事の準備から当日のお手伝いまで行ってくれました。

「ペンシルバルーン作り」「マジックショー」など
また児童センターの後片付け・清掃・子どもの遊び相手してくれとても助かっています。

・ボランティア行事（再掲③⑭）
ボランティアさんが「レクリエーション」「ボードゲームで遊ぶ」「ボーリングで遊ぶ」「レインスティック作り」「モルックで遊ぶ」を企画し開催しました。ボランティアさんは子どもたちの心を受け止めて思いっきりとことん付き合ってくれるので子どもたちから大人気です。アンケートに「ボランティアさんにもっと来てほしい。」という意見があるほど児童センターに欠かせない存在です。

地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）（貢献性⑮）

・子どもの居場所づくりの推進（再掲④⑬⑭⑮）
・岐阜清流中学校のフリースペースの1つとして活用してもらっています。担当教諭と生徒が遊戯室で体育の授業を実施しています。バトミントン・卓球・バレーボールなどをしています。
4月～9月—45回 利用者数—延べ237人

・岐阜版アダプトプログラムへの参加
職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。
清掃活動は、毎週土曜日の朝全職員で実施しています。

・子ども110番の家の登録（再掲⑬⑮）
子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。

地元の団体・住民との協働事業等の実施（貢献性⑮）

・親子ふれあい教室への開催協力
則武地区をはじめ、城西地区・鷺山地区の親子ふれあい教室に移動児童館として訪問し、職員によるさまざまな遊びを体験していただきました。

・将棋で遊ぶの開催（地域ボランティア）（再掲③⑭⑮）
今年度も地域の方に先生をお願いして、毎月2回～3回将棋を教えていただきました。毎回保護者の方が送り迎えをしてくださり参加する子・将棋の本をもって来る子など児童センターに将棋を目的に来る子が増えました。アンケートの児童センターの好きなところには「将棋があること（2人）」「将棋ができる」と書いてありました。

地域の方とのつながりのありがたさに感謝し、これからも地域の方やボランティアと一緒に子どもたちを見守っていきたいと思います。

・マジックショーの開催（再掲②③⑮）（講師）
普段から児童館のボランティアとして清掃をしたりイベントを企画し活躍してくれている中学生ボランティアの2人と夏休み行事を考える中で、地域とのつながりを活性化するため地域の方をお願いしようということになり、岐阜清流中学校の先生に講師を依頼し「マジックショー」を企画しました。当日中学校の先生方もお手伝いに来てくださり合同行事を開催することができました。

夏の思い出になり大盛況でした。ボランティアの2人は「子どもたちに特別な機会をつくれた。うまくいって喜んでくれてよかった」と話していました。

※2024 8月9日（金）朝刊より
フリースペースの子どもたち（再掲③④⑭）
岐阜清流中学校の「フリースペース」の子どもたちと協力し幼児クラブのお楽しみ会を行いました（5回）はるまつりのお手伝いがとても楽しかったのでまたやりたいと子どもたちから声をかけてくれました。いろんな場所に出かけいろんな人と関わる機会を持てるよう支援をしていきたいと思っているので今回も良い機会になりました。子どもたちのためにアンパンマンのメダルをたくさん作ってくれました。当日はお店屋さんごっこ・体操・シールはり・後片付けまでお手伝いをしてくださいました。メダル渡しは中学生にお願いしました。幼児や保護者から「ありがとう」と言われとても嬉しそうにしています。これからも子どもたちがやりたいことに会えるような支援を続けていきたいです。

前回までの意見を踏まえた取組み状況	□児童館は子どもの居場所としての役割があることから、アンケート等子どもの意見を大切に、今後も運営に努めてほしい。 →今期は150人の子どもたちにアンケートをお願いでき、より多くの意見・要望をいただくことが出来ました。これからも子どもたちとの関りを大切に、遊びを通して成長できるよう支援していきたいと思います。 □伝統芸能に触れる機会を創出する取り組みが評価できる。 →ありがとうございます。今期から毎月2回「読み語りルンルン」の先生方に来ていただき、30分ほど絵本・大型絵本・紙芝居・手遊び・歌などを企画し、幼児から小学生対象に行いました。毎回いろんな先生がみえます。語り方も違い、個性的で楽しい先生ばかりです。読み語りの中に落語を取り入れた月もあり日本の伝統芸能を伝えることもできました。また多種多様な絵本・紙芝居を見ることができるので子どもたちも楽しみにしています。これからも子どもたちに伝統芸能などを見る機会を作っていきたいと思います。 □どの児童館でもカロムが人気であることから、児童館対抗のカロム大会など、児童館同士の交流も検討された。 →今年度は毎月カロム大会を行い優勝者を掲示し年間チャンピオンを目指す目標を作りました。チャンピオンを目指して毎日のように練習にくる子どもたちがいました。好きなことをみつけ一生懸命練習する姿はとても素敵で、みるみるうちに上達していきました。次の目標として児童館対抗のカロム大会を計画していけたらと思います。 □幼児クラブの定員やクラスを増やしたり、小学生を講師としたおりがみ講座を実施するなど、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。 →ありがとうございます。今期は新しい体操を取り入れたり、内容の見直しを行いました。また子どもたち主体の新規事業をたくさん行うことができました。 □近隣の中学校と連携し、児童センターをフリースペースとして活用できている点が評価できる。 □近隣の中学校と連携して、児童センターをフリースペースとして利用できるようにし、子どもたちの居場所となるよう努めている。 →ありがとうございます。今期も児童センターをフリースペースとして利用してもらっています。また幼児クラブのお楽しみ会(5回)にスタッフとして参加しお店さんごっこ・体操・シールはり・後片付けまでお手伝いしてくれました。手作りのアンパンマンメダルも作ってくれ子どもたちは大喜びでした。後期もフリースペースの子どもたちの居場所になるよう努めて参ります。 □地域ボランティアによる様々なイベントや、中学生も運営に関り「はるまつり」を開催するなど、地域と協力して交流事業に取り組んでいる。 →ありがとうございます。今期も素晴らしいスキルや知識を持っていらっしゃる地域の方に講師を依頼しました。また「ペンシルパルーン作り」「マジックショー」など中学生ボランティアが地域の方と主体的に関り活動してくれました。後期も地域の方々のお力をおかりして新規事業に取り組んで行きたいと思います。
今後の取組み	□居場所作り ・配慮を必要とする児童を受け止め、支援の一端を担っていきます。自立を目指せるような対応や環境作り、周囲との連携を固め居場所や安心感のある児童館を目指します。また各種関係機関との繋がりを強め、体制を強化していきます。 □地域を大事にした活動を進める ・現在も母親クラブの方々や子どもたちの活動の企画・準備・運営をしてくださっています。来期も子どもたちのために何かをしてあげたいという地域の方々が児童館で活動していただけるよう取り組んでいきます。 □初めて来館した母親への支援を重視する ・今の世代の母親や家族に合った子育てに関する情報を職員が勉強しておき、0歳から就園に至るまで長期的に利用してもらえるような支援を目指します。 □ボランティア ・子どもが自主的にお手伝いなどをやりたいという気持ちを受け止め尊重することを日常的に取り組み、主体的に施設運営に携わっているという意識が持てるように取り組んでいきます。 ・子どもスタッフを立ち上げ行事を企画したり、おまつりなどのお手伝いをお願いしていきます。 ボランティア・子ども・地域みんなで児童館を盛り上げていけるよう取り組んでいきます。 □職員研修会の充実 ・今期も職員スキルアップ研修会を充実させ、幼児向け・小学生向け工作や遊びのメニュー講座などを開催し、職員の事業実施力の向上に努めます。 また、外部講師による研修会、虐待防止研修会を開催し、リスク対応力を強化します。 □広報宣伝活動の強化 ・インスタグラムによる広報宣伝活動を開始し、特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝活動を強化します。

●所管課の意見

- 子ども館長、子ども遊び係長等、小中学生に自分たちで役割を決めてもらい、事業を数多く実施する等、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。
- 近隣の中学校と連携し、児童センターをフリースペースとして利用し、行事のお手伝いにも参加してもらう等、子どもの居場所づくりに取り組んでいる。
- 地域ボランティアによる将棋教室や、中学生ボランティアが企画した中学校の先生によるマジックショーを開催する等、地域と協力して交流事業に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

- 独自のアンケート項目において、子どもたちの好きな体操メニュー等を聞き、活動に取り入れるなど、子ども目線の取り組みは、非常に評価できる。
- 子ども館長等、子ども自身が児童館の運営に関与できる機会を作り、子どもの主体性を尊重した取り組みは評価できる。
- 移動児童館において、偏ることなく未設置地区での実施を増やすとよい。
- アンケート結果から子どもたちを温かく受け入れている職員の様子がうかがえる。
- 配慮を要する子どもへの対応に積極的に取り組んでいることは評価できる。